

歴史ある四万温泉郷を守る！

～水害リスクから地域経済を守る～

名湯四万温泉郷の安全性向上

四万川ダムの整備により、下流地域の水害リスクを軽減し、湯治客が安心して名湯四万温泉郷を訪れることができます！



四万温泉観光入込客数
令和6年度 304千人

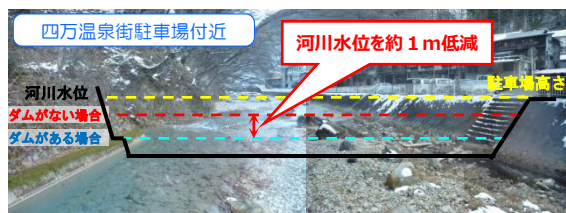


【効果】洪水時の安全性向上(令和元年東日本台風)

【効果①】

ダムによる下流水位の低減効果

四万川ダムがダム上流から流入した水を約350万 m^3 （日本トーターグリーンダム前橋約5杯分）貯めたことにより、ダム下流の四万温泉駐車場付近において、河川水位を約1m低減する効果がありました。



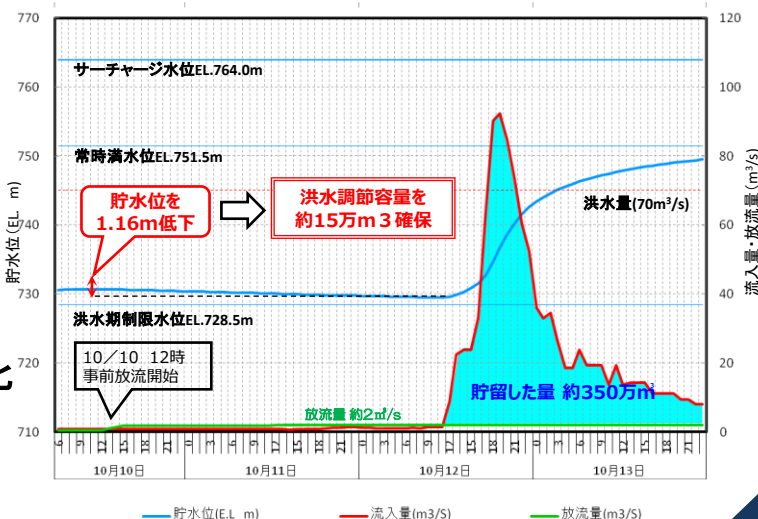
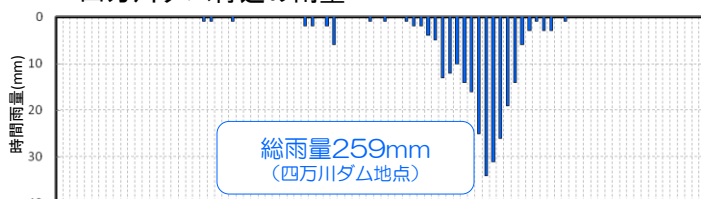
【効果②】

事前放流によりダムの洪水調節容量を強化

降雨時の洪水調節容量を確保するため、降雨前から水位を低下させる事前放流を実施し、貯水位を1.16m低下させました。

これにより、洪水時の調節容量を約15万 m^3 確保しました。

四万川ダム付近の雨量



ストック効果

霧積ダムに小水力発電を整備！

～新たな再生可能エネルギーの創出～

水力発電の積極的導入

霧積ダムは、治水（洪水調節）と流水の正常な機能維持（既得取水の安定化・河川環境の保全）を目的に建設された多目的ダムです。

既設ダムの落差を活用した小水力発電所（従属発電）を新設することで、治水機能等を損なわずに新たな再生可能エネルギーを創出します。

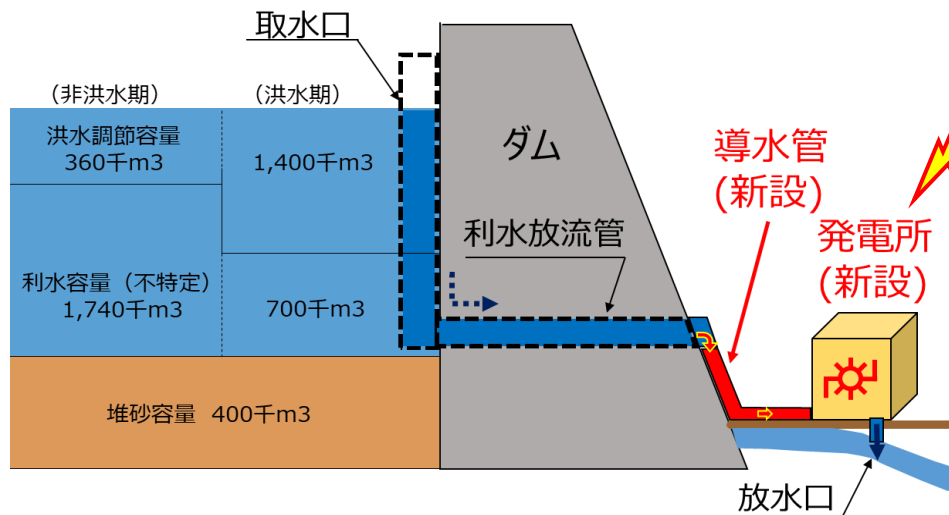


従属発電：発電用の容量を確保せず、ダム運用に伴う放流水を使用した発電方式



【効果】新たな再生可能エネルギーの創出

- ・発電所の運転開始により、年間で約185万kWhの電力を供給できるようになり、これは約500世帯の電気消費量に相当します。
- ・本県の恵まれた水資源を活かして再生可能エネルギーを創出することで、温室効果ガスの排出削減に貢献します。



ストック効果